

よしみ 議会だより

2010
第122号
吉見町議会
8月1日発行
編集
議会だより編集委員会
比企郡吉見町下細谷411
TEL 0493(54)1511



よしみ歴史探検隊の琥珀アクセサリーづくり（平成22年7月10日 埋蔵文化財センター）

6月定例議会

9月定例議会

8月31日(火)

から開催される予定です。

この議会だよりは再生紙を使用しています。

- 非自発的失業者の
国民健康保険税を軽減 … P 2～3
- 議案審議結果 … P 4
- 一般質問に6名登壇 … P 5～7
- 一部事務組合報告 … P 8
- 農業集落排水事業を視察 … P 9
- 議会日誌、編集後記 … P 10

6月定例議会

吉見町国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）承認

「非自発的失業者の 国民健康保険税を軽減」

6月定例議会は、6月8日から10日までの3日間の会期で行なわれました。
今定例議会では、平成22年度一般会計補正予算、条例の改正、人事案件、議員提出議案など16議案の審議が行なわれ、すべて可決、承認、適任されました。
一般質問については、6名の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

主な議案の内容

■専決処分について（吉見町税条例の一部を改正する条例）

－主な改正事項－

- 65歳未満の方の公的年金等所得に係る町民税の所得割の徴収方法の改正
 - ・改正前 給与所得分 → 給与からの特別徴収
年金所得分 → 普通徴収
 - ・改正後 給与所得分・年金所得分 → 両方を給与からの特別徴収
(申し出により、年金所得分の普通徴収も可能)

■専決処分について（吉見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

－主な改正事項－

- ①課税限度額の見直し
 - ・基礎課税額の課税限度額を47万円から50万円に引き上げ
 - ・後期高齢者支援金等課税額の課税限度額を12万円から13万円に引き上げ
- ②特例対象被保険者等に係る国民健康保険税の軽減の創設
 - ・非自発的失業者の国民健康保険税の軽減
(前年の給与所得を30/100として計算をします。)

■吉見町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

－主な改正事項－

- ①時間外勤務の制限の改正
- ②子の看護休暇の改正
- ③短期介護休暇の新設

■職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

－主な改正事項－

- ①育児休業等をするのできる職員の改正
- ②再度の育児休業等をするのできる職員の改正
- ③育児休業等の承認の取消事由の改正

■吉見町税条例の一部を改正する条例

－主な改正事項－

- ①個人の町民税に係る扶養親族申告書の提出（施行期日 平成23年1月1日）
- ②扶養控除の改正（平成24年度から）
 - ・16歳未満の扶養親族に係る扶養控除（33万円）を廃止
 - ・16歳以上19歳未満の特定扶養親族に係る扶養控除の上乗せ部分（12万円）を廃止
- ③たばこ税の税率の改正（施行期日 平成22年10月1日）
 - ・1,000本につき3,298円を4,618円に引き上げ
 - ・旧3級品1,000本につき1,564円を2,190円に引き上げ
- ④非課税口座内上場株式等の譲渡に係る町民税の所得計算の特例（施行期日 平成25年1月1日）
 - ・非課税口座内の少額上場株式等に係る譲渡所得等の非課税措置導入に関し、一般の株式等に係る譲渡所得等の金額と区分して計算する等の措置
 - ・非課税措置
 - ◇非課税対象 ー 非課税口座内の少額上場株式等の配当、譲渡益
 - ◇非課税投資額 ー 毎年、新規投資額で100万円を上限
最大300万円（100万×3年間「平成24年から平成26年」）
 - ◇保有期間 ー 最長10年間
 - ◇口座開設数 ー 年間1人1口座

■吉見町名誉町民条例

町の発展又は広く社会文化の興隆に功績のあった方に、吉見町名誉町民の称号を贈り、その功績と栄誉をたたえるとともに、町の発展又は社会文化の興隆に対する町民の意欲の高揚に資することを目的とするものです。

■平成22年度吉見町一般会計補正予算（第1号）

既定の予算額から歳入歳出それぞれ10万8千円を減額し、予算の総額を57億8,989万2千円とするものです。

歳入として－

- 県補助金の埼玉県自主防犯パトロール支援事業補助金 13万2千円
- 財政調整基金繰入金 △24万円

主な歳出として－

- 退職手当負担金を含めた人件費 △1,394万4千円
- 集会所修理費補助金 59万4千円
- 道路維持修繕等工事 660万円
- 一般水路改修工事 100万円
などがあります。

人 事

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員に 小川好以 氏を
推薦することに決定いたしました。

住 所：吉見町大字久保田1527番地2
生年月日：昭和24年1月12日



議案審議結果

町長提出議案

議案番号	件名	審議結果
議案第21号	専決処分について（吉見町税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第22号	専決処分について（吉見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第23号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決
議案第24号	彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議案第25号	埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議案第26号	吉見町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第27号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第28号	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第29号	吉見町税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第30号	平成22年度吉見町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第31号	平成22年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第32号	平成22年度吉見町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第33号	平成22年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第34号	平成22年度吉見町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第35号	人権擁護委員の推薦について	適任

議員提出議案

発議番号	件名	審議結果
発議第2号	吉見町名誉町民条例の提出について	原案可決

町政に対する
一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

通学路の安全性と利便性・町の暮らしの安全性

神田 隆 議員

問 各学校では通学路を設定する上で、どのようなことを考慮し決定しておりますか、お聞きします。

答 通学路の設定にあたりましては、「安全第一」を基本といたしまして、PTAの皆さんや交通安全母の会の皆さんなどと連携し、きわめて危険性の少ない通学路の設定にあっております。

問 通学路等の整備の取り組みと安全確保のための概要についてお聞きします。

答 通学路の安全性についてですが、通学路の一部には、道路構造上見通しがあまりきかなかつたり、路面が破損した箇所なども見受けられます。このような場合には、所管課へ連絡し、危険を取り除いていただくよう依頼し、対応いただいております。

問 中学校を卒業し、それぞれの道を進む中、通学の不便さを感じているようです。通学の利便性についてお聞きします。

答 通学の際、町の事業としては、巡回バスが焦点になると考えます。森林公園駅、吹上駅に加え、

平成22年4月から北本駅へ乗り入れを開始し、利便性の向上に努めております。

問 高齢者や乳幼児の事故は、家庭内でも発生しています。その応急手当と情報提供についてお聞きします。

答 6か月から2歳未満児の家庭内事故の大半を占める誤飲事故を防ぐために、赤ちゃん事業による訪問時に「大変危険です。子どもの誤飲」と題したチラシを配布しております。また、事故が起こってしまった場合の相談先などもお知らせしています。



安心・安全へのチラシなど

生涯スポーツの取り組みについて

尾崎 豊 議員

問 スポーツは、長年にわたってつくりあげられたもので、生き生きとした人生を送るためには必要な生活文化になっていると思います。スポーツは、「医療であり、芸術であり、教育である」と言われています。スポーツを推進する意義について、今後の吉見町の取り組みは。

答 スポーツ環境を整え、町民がいつでも、どこでもスポーツに親しむ機会と場の提供を実施しています。今後も、健康で豊かなライフスタイルの構築と明るく活気ある町づくりに努力してまいります。

問 吉見町の体育指導の体制については。

答 生涯スポーツ推進のため、指導者育成などのリーダー育成の研修に、より一層の取り組みをしてまいります。

問 総合型スポーツクラブ設置について町の取り組みは。

答 運営に携わるリーダーの育成、クラブハウスの設置等大きな課題があり、さらなる調査研究をして

いきます。

問 松山城跡保存管理計画書作成後の取り組みは。

答 計画が策定されているものについては、この計画に基づき随時実施してまいります。

問 フレサよしみの利用者の推移と利便性の向上を。

答 利用者・来館者数は、順調に伸びています。平成22年度には、9万7,932人となっており、開館初年度と比較し68.8%の増加で、開館以来の累計で約40万人となっております。



フレサよしみ

問 防災無線の使用基準と使用状況は。

答 運用規程、運用細則を定め実施しています。今後も緊急放送、一般放送、音楽放送等適正に実施してまいります。

新保育所は子育て支援のシンボルに

公明党 長島 茂 議員

平成23年10月に新保育所の開所をめざし、あわせて子育て支援センターを併設した事業を推進し、安心して子どもを産み育てることができる環境整備のもとに、主要施策と位置付けた事業が始まります。

問 1園にすることの利点と課題、開所までのスケジュール及び現在の施設の後処理の方策は。

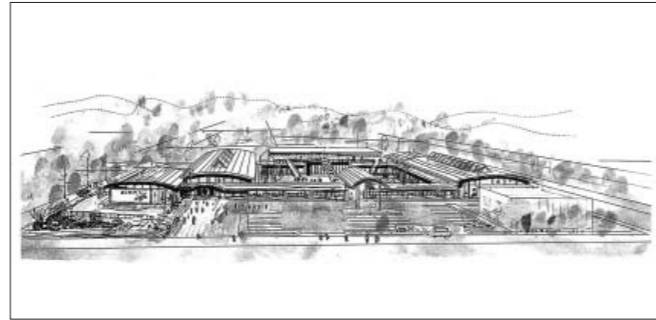
答 0歳児をはじめとした特別保育の充実と運営の効率化による財政効果が図られます。課題は定員240名を予定していますので、朝夕の送迎の混雑が考えられます。開所に向け8月に仮契約をし、9月議会に審議をいただきたく進めています。施設の後処理は、今後検討してまいります。

問 保育内容や保育時間等含めた人事をはじめとして人員、要員配置など取り組む姿勢は。

答 定められた基準の中で、人事をはじめ新たな保育サービスなどに考慮し、適正な人員配置をします。

問 省エネルギーや環境などに留意した建物建設において、断熱効果等に優れた塗料があるが検討を。

答 太陽光発電をはじめ、環境等に配慮した建物を考えています。塗料については、検討してまいります。



(仮称) よしみ保育所完成予想図

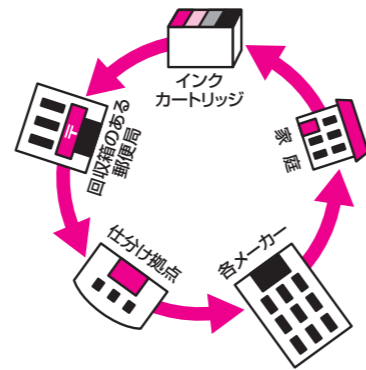
問 公営企業としての水道事業は、水生活課の中にあつて組織をはじめ人事、給水等経営の基本原則に沿い支障ない業務遂行を行なっているか。また、人員管理や改善など生じた時は、適切な対応をしてもらいたい。

答 吉見町課設置条例及び公営企業に関する条例に基づき、課長以下総勢13名で行なっています。給水については県水100%による安定供給を行なっており、平成22年度は6億2,343万3千円の給水収益を見込み、適正な管理運営をしています。業務改善や人員数など必要に応じ対処していきます。

レジ袋、白色トレイ等々、店頭回収への町民の協力推進及びごみ減量に対する意識改革について。

答 プロジェクトへの参画は資源の有効利用、ごみ減量につながります。もう少し研究してまいります。

店頭回収への協力については、情報提供や分別収集日程表を通して協力をお願いしてまいります。また、ごみは捨てる物ではなく、利用可能な資源となるとの意識の転換推進、再生利用促進を図ってまいります。



インクカートリッジの再資源化のしくみ

問 ひばりヶ丘、松ノ平団地の流末整備について。

答 ひばりヶ丘は、ある程度進捗していますが、松ノ平は今後事業化に向け取り組まねばと考えています。

子ども手当創設について

宮崎 雄一 議員

問 昨年度の児童手当から今年度は、新たに子ども手当が支給されることになりました。国の財源不足から月26,000円の支給は断念し、今年度は既存の児童手当とつぎはぎの形で、地方が財源の一部を負担し月13,000円の支給となりました。中学校修了前の子どもが対象であります。6月に支給となっておりますが、支給事務の進捗及び対象人数は。

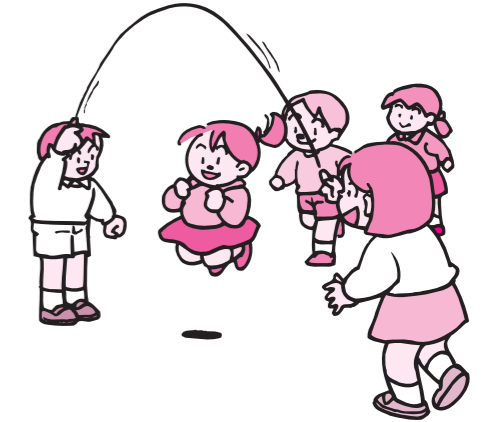
答 県内でもいち早く3月30日に新たに申請が必要な方に申請書を発送し、今日まで順次受付を実施しております。対象者は2,781人です。

問 支給された後、給食費・保育料未納者への対応は。

答 手当を差し押さえたり、未納額と相さいすることはできないことになっておりますが、支給の趣旨を鑑み早期の未納解消を保護者に求めてまいります。

給食費滞納状況は、中学校では平成13年度から平成21年度で19家庭24人、滞納額886,306円で小学校は該当ありません。

保育料未納者に対しましては、可能な額を保育料に充当していただけるよう啓発してまいります。未納者数は26人累計で4,867,740円です。



問 横見川は昭和52年、町が準用河川に指定し、平成16年まで26年間工事を継続しておりましたが、最近5年間は中断されたままであります。今後の計画は。

答 未改修区間の約2kmのうち、八丁湖地先の橋の上流から山ノ下集落までの区間についても用地買収が伴う予定ですが、県等の補助事業を導入しながら事業の推進に努めてまいります。

国民健康保険税の生活困窮世帯への減免について

日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 国保税の減免に関する条例を郡内の町で比較すると「生活困窮」を対象にしていなくて読み取れるのは、吉見町だけである。平成20年3月に国保税の引き上げが行なわれた時にも一般質問をしましたが、いまだに制度がない理由について伺いたい。

答 国民健康保険税条例に減免規定があり、災害の他病気や事業不振、失業等の理由により生活が著しく困難になった方についても対応している。

問 現行の減免規定「災害等により生活が著しく困難となった者又はこれに準ずると認められた者」とあるが、この条文で災害にあっていない生活困窮世帯が減免対象になると読み取れるか。町長に伺う。

答 「これに準ずると認められた者」ということなので十分に読み取れると理解している。

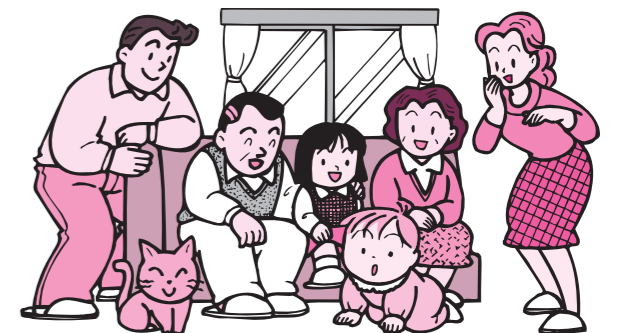
問 町の条例は単に町の職員のためにあるのではなく町民のためにある。規定されている事項がよく理解できないものや条文の意味が人それぞれに解されるようなあいまいな表現であってはならないが、事

務分掌として担当している総務課に伺うが、町民に分かりやすい条文にするために生活困窮の項目を加えることが必要ではないか。

答 先ほど町長が答弁されたとおりである。

問 現行の条例でも生活困窮も対象になるとのことなので現状で不備になっている減免申請用紙の作成と減免の中身についての要綱整備を早急に行ない、即座に対応できる体制を整えるべきでないか。

答 生活が困窮している方から税を取るとというのは、公正なやり方ではないと思っている。申請用紙や項目がないから対応しないということでは全くない。



一部事務組合報告

埼玉中部環境保全組合議会定例会 内野 正美 議員

期日 平成22年 5月24日 午前9時から
場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見町議会から神田隆議員、荻野勇議員、小柳幸一郎議員、内野正美の4名が出席いたしました。

平成21年度管内から搬入されましたごみの量は、可燃ごみが36,966.1トン、粗大ごみが1,223.39トン、合計38,189.49トンであります。昨年度と比較いたしますと可燃ごみ1,439.44トンの減、粗大ごみ30.3トンの増、合計1,409.14トン、3.56%の減でありました。なお、平成21年度は、ほかに、小川地区衛生組合からの受託ごみ1,162.74トンの可燃ごみを処理しており、今年度も同組合からごみ処理受託を依頼されております。

当組合管内から発生したごみ処理量は、平成13年度から9年連続で減少しているとのことで、これも、正副管理者をはじめ構成市町のごみ減量に対する啓発活動の賜であり、住民皆様のごみ減量に対する御理解、御協力に感謝しております。

次に、第2期大間最終処分場につきましては、原水のPH（水素イオン濃度）について、薬品による中和を図っており、県と連携を取りながら最終処分場の廃止に向けて努力をしております。

埼玉中部環境センターは、供用開始後26年が経過しておりますが、種々の保守点検整備等を実施し、今後も、安心・安全な施設として維持管理に努めてまいります。

付議された議案

○議案第6号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

平成22年3月23日、加須市、騎西町、北川辺町、大和町が合併、また、久喜市、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町が合併いたしました。これらの合併に伴う変更が主なものであります。

慎重審議のうえ、原案のとおり可決されました。

比企広域市町村圏組合議会臨時会 尾崎 豊 議員

期日 平成22年 5月24日 午前10時から
場所 東松山市議会議場

吉見町議会から小林周三議長、尾崎豊の2名が出席いたしました。管理者より上程されました議案は3議案です。

○議案第15号 財産の取得について

東松山消防署に更新配備する救助工作車を購入することについて、議決をいただきたいとするものであります。

○議案第16号 平成22年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算（第1号）について

第1条において、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ461万9千円を追加し、予算の総額を35億1,461万9千円といたしたいとするものであります。

また、第2条では、地方債の補正をいたしたいとするものであります。

○議案第17号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

本議案は、埼玉県市町村総合事務組合からの依頼議案で、同組合を組織する地方公共団体の合併、一部事務組合の解散及び名称の変更等が生じたため、規約の変更について議決をいただきたいとするものであります。

以上、上程されました3議案につきましては、慎重審議のうえ、原案のとおり可決されました。

閉会中の所管事務調査報告

視察を実施

- 北部中央地区クリーン施設視察
- めだかの郷地区クリーン施設視察

調査日 平成22年 4月20日
目的 施設の概要とEM菌の効果及び真空方式について

初めに北部中央地区クリーン施設を委員全員で視察しました。処理区域は本沢・上細谷・小新井・中新井・御所・黒岩で、平成15年4月供用開始しております。計画処理人口は2,780人、計画戸数396戸、処理方式はオキシデーションディッチ方式、処理能力は751m³/日です。EM菌の効果については、動植物の細胞を活発にする働きを持つ酵素などを作る微生物で土壌改良、生ごみの肥料化、河川の浄化などに有用です。また、汚泥貯留槽に投入されたEM菌の効果は、粘性度が下がり圧縮性が向上し搬出汚



北部中央地区クリーン施設

総務建設常任委員会

宮崎 雄一 委員長

泥を約33%減容し、臭気の発生を抑えるとのことです。

次にめだかの郷地区クリーン施設へ移動し、施設の説明を受けました。処理区域は地頭方・今泉・一ツ木で、平成19年4月供用開始しております。計画処理人口は1,130人、計画戸数213戸、処理方式は連続流入間欠ばっ気方式、処理能力は306m³/日です。真空方式は真空弁ユニット、真空管路、真空ステーションから構成されていますとの説明でした。

質疑では「水質検査での水質は」の質疑に対し、「毎月水質検査を実施しており、全処理場とも基準以下」との答弁、「年間の集計データはあるのか」の質疑に対し、「水質の変動状況等の把握は、重要と考えますので整理してまいります」との答弁でした。

各処理場の維持管理については、細心の注意を払い運営していただきたいと要望いたしました。以上閉会中の所管事務調査報告といたします。



視察の様子

町議会を傍聴してみませんか

次の議会は

9月定例議会

8月31日(火)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493 (63) 5024



議 会 日 誌

月 日	件 名
H22. 3. 7	第26回比企郡駅伝競走大会
7	吉見町舞踊連盟主催「第5回舞踊発表会」
14	平成21年度西吉見南部土地改良区通常総会
15	吉見中学校平成21年度第52回卒業式
20	よしみ幼稚園平成21年度卒園式
20	平成21年度吉見町シルバー人材センター第2回定期総会
23	比企郡町村議会議長会議
24	町内小学校平成21年度卒業式
27	第6回道の駅朝市
4. 1	平成22年度町職員辞令交付式
1	平成22年度吉見町教職員辞令伝達式
2	平成22年度吉見町ゴルフ協会総会・親睦コンペ表彰式
3	さくら堤公園桜祭り
6	吉見町地域活動支援センター開所式
6	武蔵丘短期大学平成22年度入学式
7	よしみ幼稚園平成22年度入園式
8	吉見中学校平成22年度入学式
8	町内小学校平成22年度入学式
12	議会だより編集委員会
19	議会だより編集委員会
20	総務建設常任委員会閉会中の所管事務調査
29	第60回松山地区剣道大会
5. 2	吉見町神社総代会
10	東松山地区暴力排除推進協議会役員会及び総会

月 日	件 名
5.11	吉見町・川島町議会議員合同視察研修会
14	比企広域市町村圏組合議会組合市町村選出議員代表者会議
14	平成22年度吉見中学校PTA・後援会歓送迎会
16	第44回比企郡民体育大会 卓球大会
17	平成22年度都幾川・市野川水系改修促進期成同盟会通常総会
17	仮称新市野川橋建設促進協議会第12回総会
18	第35回全国町村議会議長・副議長研修会
20	特定非営利活動法人ひばり定期総会
20	吉見町老人クラブ連合会総会
20	比企郡町村議会議長会定期総会
22	平成22年度吉見町水防訓練
22	平成22年度吉見町シルバー人材センター第1回定期総会
23	第44回比企郡民体育大会 バドミントン大会
24	比企広域市町村圏組合議会臨時会
26	吉見町商工会総代会
26	吉見町教育関係管理職合同歓送迎会
27	第28回吉見町民ゴルフ大会パーティー
28	吉見町遺族会総会
28	平成22年度荒川上流改修促進期成同盟会総会
28	平成22年度吉見町PTA連絡協議会歓送迎会
6. 2	議会運営委員会

編 集 後 記

夏本番を迎え、海や山から夏の便りが届いておりますが、町民の皆様方がお過ごしでしょうか。

平素から議会に対する深い御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。議会編集委員会は、新しいメンバーとなり1年が経過いたしました。今後とも、町民の皆様方により親しまれ、関心を持っていただけるような議会だよりの編集に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。また、町民の皆様方には議会の傍聴と御意見をいただけますようお願いいたします。

議会だより編集委員会
 委員長 内野正美
 副委員長 尾崎 豊
 委員 小林 周三
 委員 小柳 幸一郎
 委員 宮崎 雄一
 委員 神田 隆